

記念式典で、くす玉を割って祝う関係者



JR西里駅 開業70周年祝う 1日1800人利用

本学に隣接するJR西里駅が開業70周年を迎え10日(火)、現地で記念式典が開催されました。

出席した約30人の関係者を前に、上熊本駅の東浩二駅長が「昭和29年に開業し、今年で開業70周年を迎えた西里駅は、現在も1日あたり約1800人の方にご利用いただいております。そのうちの76%は学生の皆さんです。これまで駅の発展に携わった全ての人に感謝を伝えたい」と主催者挨拶。西里駅の名誉駅長でもある竹屋元裕学長が「西里駅はJR九州の利用者数ランキングで全600駅中175位にランクインするなど、今もなお多くの人々に利用さ

れています。これからも地域に根ざした、愛される駅として在り続けられるよう、この場所を皆さんと一緒に守っていきたい」とあいさつしました。

引き続き、本学の吹奏楽部が、駅に植えられている花にちなんで「花は咲く」を演奏。くす玉が割られると拍手が沸き起こっていました。

セレモニー終了後は、西里の語呂にちなんで243枚発行されている「鹿児島本線西里駅開業70周年記念入場券セット」の特別販売が行われました。(NL編集部)

卒業生のアドバイス 就活に生かせ 看護学科3年

看護学科3年次生を対象としたキャリア教育支援「卒業生および4年生からの講演会」が11月28日(木)、看護学科と就職・実習支援課の共催で開催されました。

看護師、助産師、保健師、養護教諭として活躍する卒業生からは、働く上でのやりがいや語られました。また、4年次生からは後輩に向けて、就活のポイントとして「スケジュール管理」「主体的な行動」「看護師像の確立」等のアドバイスが送られました。

今年度は、令和7年度より開講する「公衆衛生看護学専攻科」についての説明もあり、会終了後の個別相談では、学生たちが保健師の先輩を囲み熱心に話を聞いていました。

本講演会を通して、学生が進路選択の幅を広げ、

なりたい姿や夢の実現に向けて、進学・就職活動に主体性をもって取り組むことを期待しています。(就職・実習支援課)

卒業生や4年次生からのアドバイ
スを送られた講演会の会場

クリスマス イルミネーション点灯

冬のキャンパスに温か彩り

本学の冬の風物詩「クリスマスイルミネーション」が今年もお目見えし、9日（月）、キャンパススクエアで点灯式がありました。

すっかりと日が暮れた18時過ぎ、学友会総務の青木成実さん（医学検査学科2年）が「イルミネーションの光が彩る景色に、少しでも温かさを感じてくれたらうれしいです」とあいさつした後、カウントダウン。学内5カ所に設置されたイルミネーションが一斉に点灯すると、集まった約50人の学生、教職員の間から拍手が沸き起こりました。引き続き、学友会メンバー4人がトーンチャイムで「赤鼻のトナカイ」を演奏し、点灯式に花を添えました。

準備にあたった総務の渡邊杏さん（同2年）によると、イルミネーションは学友会メンバー23人が3～6日の4日間、設置作業にあたったといいます。渡邊さんは「冬の学内の景色を楽しんでほしい」と話していました。

クリスマスイルミネーションは25日までの平日18～21時に点灯します。

（NL編集部）



写真上は、点灯式でトーンチャイムの演奏を披露する学友会のメンバー。同下は、正門前に設置されたサンタクロースとトナカイのイルミネーション

チャレンジ熊保大！（一般選抜対策講座）

一般選抜希望の高校生に 予備校講師が懇切指導

本学の一般選抜を希望する高校生に向けた恒例の「チャレンジ熊保大！一般選抜対策講座」が8日（日）、本学であり、生徒、保護者計約160人が参加しました。

熊本市の人気予備校「壺溪塾」の講師陣が、本学の英語・現代国語及び言語文化・数学・理科（物理・化学・生物）・小論文の過去問題をもとに受験対策について解説。保護者向けには本学の概要や入試、奨学金制度・アパートの説明会、学内見学ツアーなどを実施しました。

参加した生徒は、「重要な点を解説してもらえるので、助かります」、「学食がとてもおいしかったです」などと話していました。

（入試・広報課）

熱心に英語の授業を受ける生徒たち



ピア・サポ
通信

養成講座で役割再確認

令和6年度の第2回養成講座が11月30日（土）、150IM講義室で開催され、ピア・サポーター31人、プチ・サポーター70人が参加しました。＝写真

今回の講座のテーマは、「インクルーシブな熊保大を目指してーピア・サポーターの役割とはー」。DE&I（多様性、公平性、包括性）の視点から、ピア・サポーターとして何ができるのかをグループに分かれて話し合いました。

「DE&I」という言葉を初めて聞いたという学生も多く、まずは私たちがDE&Iについて詳しく知り、学生に広めていくことが必要だという意見が多く出ました。また、ピア・サポーターは学生の相談に乗る機会も多いことから、多様なコミュニケーション方法を活用し、しっかり傾聴するという意見もあり、ピア・サポーターとしての基本姿勢も再確認できたと思います。

学生ができる限り不安を解消し充実した大学生活を送れるよう、今後の養成講座でもしっかり学んでいきます。

1月に定期試験対策相談会を開催予定です。みなさんのご来場お待ちしております！（看護学科3年 園田莉子）

将来期待の4選手 13項目の体力測定

熊本県の「くまもとワールドアスリート事業」で育成指定選手に選ばれている高校生ら4人が11月22日（金）、本学アリーナで体力測定に臨みました。

4人の競技はボクシング、ローイング、カヌー。今回は、下肢筋力や跳躍能力、自己効力感など全13項目を、本学の教員とリハビリテーション学科理学療法学専攻の1年次生10人、大学院生3人が協力して実施しました。

12月と1月にも同様の計測を予定しており、学生にとっては国内トップレベルの選手の体力測定を通して、医科学的な視点を養う貴重な学びの機会となることが期待されます。（健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴）



BIODEX(膝の筋力測定)実施中の選手に声掛けをする学生たち

インフォメーション

週間行事予定（12月17日～12月23日）

12/20（金）

学園忘年会